

I. 次の楽曲はメタナ作曲、弦楽四重奏曲 第1番「わが生涯より」第1楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(3点×8=24点)
(音程)

① 増1度	② 減5度	③ 長7度	④ 短3度
⑤ 短6度	⑥ 完全8度	⑦ 増5度	⑧ 長10度 (oct長3度)

(転回音程) (3点×4=12点)

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)
旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(a) ②を属音とする旋律短音階

(b) ⑦を導音とする短調のⅢ音を主音とする長音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(3点×2=6点)

(c) ②を下属音とする和声短音階

(d) ⑥を第Ⅵ音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- (1) 種類 減七の和音 転回形 第2転回形 (2) 種類 属七の和音 転回形 基本形
 (3) 種類 減三和音 転回形 第1転回形 (4) 種類 長三和音 転回形 第2転回形
 (5) 種類 短三和音 転回形 基本形

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[]に調名を、{ }に和音の種類を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。(a～c: 2点×4=8点、d: 1点×7=7点)

- a. (4)を属音とする長調の《 下属調 》はへ長調である。
 b. (3)をⅦ度の和音とする短調の同主調は[変ロ長調]である。
 c. (5)を下属音とする調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を属調とする調の平行調は[変ホ長調]である。

- d. 長音階の音階上のできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。
 I { 長三和音 } II { 短三和音 } III { 短三和音 } IV { 長三和音 }
 V { 長三和音 } VI { 短三和音 } VII { 減三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。(1点×7=7点)

leggiero	9
largando	13
sostenuto	11
poco	7
con brio	2
Moderato	8
appassionato	4

- 意味: 1. 歩くような速さで 8. 中ぐらいの速さで
 2. 生き生きと・活気をもって 9. 軽快に・軽く
 3. 非常に 10. 各音をはっきりと
 4. 熱情的に 11. 音の長さを十分に保って
 5. 感情を込めて 12. 悲しげに
 6. 歌うように 13. rit.+cresc.
 7. 少し 14. rit.+dim.

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(2点×6=12点)

A

B

C *Andante con moto*
espress.
p *cresc.*

(ii)

(iii)

- A 下短調 B ホ長調
 C (い) へ長調 (ろ) へ長調
 (は) へ短調 (に) 変ロ短調